

■大築尚志 維新期の軍事技術者。大砲などの武器の整備の近代化に大きく貢献し、「陸軍造兵界の象徴」。

おおつきたかゆき

滑稽+人情本 1835＝ 下総国佐倉城内で、代々堀田家臣の藩士大築尚忠の長男に生まれる。母は代官の娘つな。幼名保太郎。

大塩平八郎乱 1837＝ 2歳：

適塾ホヰン・ 1838＝ 3歳： 弟幸次郎が誕生。

天保改革弾圧 1842＝ 7歳： 弟寅三郎が誕生。

佐倉藩の藩校{成徳書院}に学び、

天保改革終・ 1844＝ 9歳：

阿部正弘首座 1845＝10歳：

ビヰトル来航・ 1846＝11歳： 弟岩四郎が誕生。

・・・・・・ 1847＝12歳： 四書の素読の試験を受け、優秀な成績を収め、

北斎没・・・・ 1849＝14歳： 袖留と前髪執を許され、元服。

国定忠治磔・ 1850＝15歳： 弟彦五郎が誕生。当分御雇御城門出番となり、

尊徳報徳論・ 1851＝16歳： 藩主堀田正睦に御目見えし、高島流砲術修行を命ぜられ、

ペリー来航・ 1853＝18歳： ペリー艦隊来航に際して、高島流砲術方出役として下総国千葉郡寒川浦へ出張。

開国開港・・・・ 1854＝19歳： ペリー再来航でも同地に出張。藩命で藩の洋学者手塚律蔵(周防出身)に入門、同期の西周と親交し始め、

松下村塾・・・・ 1856＝21歳： 弟由蔵が誕生。この年、手塚律蔵に桂小五郎が入門、

蕃書調所・・・・ 1857＝22歳： この年、手塚律蔵に津田仙が入門するなど、手塚門下の俊秀らと切磋琢磨、

修業年限も延長され、

さらに英学も修業すべしとの藩命受け、

萩田門外変・ 1860＝25歳： 佐倉藩最初の英学習得者となって帰藩し、洋学指南役を拝命、

遣欧使節・・・・ 1861＝26歳： 佐倉藩の娘と結婚し、土木村軍太郎により洋式になっていた佐倉藩軍制を受継ぎ、下志津原に打場(のち明治陸軍も使用)を整備などするも、

生麦事件・・・・ 1862＝27歳： 師手塚律蔵が佐倉に来るのと引換えのように、幕府の蕃書調書出役教授手伝となり、

8月18日政変 1863＝28歳： 幕府が推進する大規模な軍制改革に対応するよう海陸軍兵書取調出役を兼務、

禁門の変・・・・ 1864＝29歳： 歩兵奉行から命じられてオランダの兵書を翻訳、陸軍所から「歩兵心得」として出版され、

薩摩藩士密航 1865＝30歳： 弟彦五郎を養子とする。ついに幕臣に取立てられ、歩兵差図役として幕府の洋式軍隊編成にあたる。

薩長同盟・・・・ 1866＝31歳： 大鳥圭介とともに、仏蘭西国業前伝習を命じられるも、重病となり対応できず、

大政奉還・・・・ 1867＝32歳： 回復し、陸軍所の翻訳御用に復帰するが、

明治維新・・・・ 1868＝33歳： 戊辰戦争のさなかに、歩兵頭並にまで昇進するが、幕府敗北決着で、主家に従い駿河に移ると、沼津兵学校創設を推進し、頭取に西周を招くことに尽力。陸軍一等教授方として、ついに旧幕府幹部になる。

戊辰戦争終・ 1869＝34歳： 次女が誕生するも夭折(すでに長女も夭折)。

初の日刊新聞 1870＝35歳： 末弟由蔵を養子にする。西が上京してしまったため、頭取並に任命されるも、

廃藩置県・・・・ 1871＝36歳： 三女が誕生。廃藩置県による、沼津兵学校の兵部省移管に従い、新政府から陸軍中佐兼兵学助とされ、

学問のすすめ 1872＝37歳： 命じられて上京、造兵司分課に任命され、以後、陸軍で造兵部門と砲兵科の道を歩んで行く。この年来日した第二次フランス軍事顧問団ルボン大尉の指導を受けながら、

明治6年政変 1873＝38歳： 陸軍省第三局副長、造兵司御用兼務で、事実上造兵司の最高責任者となり、大佐に昇進。

1874＝39歳： 造兵司御用専任となり、

初の民間工場 1875＝40歳： 造兵司を廃止し武庫司と合併して設置された砲兵本廠整理、名実ともに陸軍造兵最高責任者となる。

三つの内乱・ 1876＝41歳： ルボン大尉も帰国するなか、

西南戦争・・・・ 1877＝42歳： 維新後最大で最後の内乱。西南戦争においても造兵設備をフル稼働させて政府軍の勝利に貢献、

大久保暗殺・ 1878＝43歳： その功で、勲四等旭日中綬章。残務処理後、砲兵会議副議長(議長不在で事実上議長)、

沖縄県編入・ 1879＝44歳： 父が死去。

・・・・・・ 1880＝45歳：

明治14年政変 1881＝46歳： 砲兵局長、

帝国大学始・ 1886＝51歳： 陸軍少将に進級し、砲兵会議議長、

国民之友始・ 1887＝52歳： 砲兵の教育全体を統括する砲兵監となるが、

帝国憲法発布 1889＝54歳：

帝国議会始・ 1890＝55歳： 砲兵監の二分割に伴い、休職。

日清戦争始・ 1894＝59歳： 日清戦争が起きると、臨時東京湾守備隊司令官を命じられて、外征部隊の留守を守り、

日清戦争終・ 1895＝60歳： 戦後、その功で、勲二等瑞宝章。

子規句歌革新 1898＝63歳：

Bushidou・・・・ 1899＝64歳： 陸軍中將となり、後備役に編入されてまもなく、

ビヰア/国産化・ 1900＝65歳： 脇差で謎の自殺を遂げた。正四位旭日重光章を追贈。